

散水用品

季節の散水作業

春の散水

●**3月** このころは地域により気温や降雪など地域差がもっとも大きい時期です。一日の最高気温が10度ぐらいになれば植物も旺盛に生育し始めますので、たっぷりと水をやってください。寒い地域では地温があがり霜が見られなくなつてからの水やりでも遅くはありません。3月は比較的雨が多く、まだ気温も低いので頻繁に水やりの必要はないかもしれません。

●**4月** 4月ごろになると土の中からも発芽が始まります。新芽は乾燥に弱いので新芽が見られるようならば特に乾燥には注意します。植え付けただばかりの植物は表土と完全に密着していないため、乾燥させてしまうと表土に密着しにくくなりますので、朝夕にはたっぷりと散水をしましょう。



●**5月** 冬に寒さで傷んだ植物がようやく回復してきます。十分に水やりをしてください。湿潤なところは同時に雑草の芽も旺盛に伸びてきます。除草作業が必要な季節でもあります。

夏の散水

●日中の水やり要注意

気温の高い日中に水やりすると、土の中の水が温まって植物を蒸らしてしまいますので、蒸れには注意が必要です。早朝か夕方の涼しい時間にたっぷりと水やりをします。

●たまり水に注意

水やりのホース内にはたまり水が残っています。夏の炎天下で放置されたホースのたまり水は温水になっています。そのまま水やりを始めると、熱いお湯が植物にかかります。夕方の水やりでもたまり水には注意し、水やり前には一度たまり水を抜いてから散水してください。

●たっぷり水やり

夕方はたっぷり水やりをします。土の中の空気を入れ換え、日中に熱くなった表土の温度を下げます。水やりのときに表土に水がたまらないよう、水はけの良い土作りをしてください。

梅雨の散水

梅雨に入ると屋外では頻繁に水やりする必要はなくなります。天気を見ながら必要に応じて与えてください。梅雨といっても、

雨の降らない空梅雨のときもあり、晴れるとよく乾燥するので、屋内の鉢物では油断ができません。



秋の散水

涼しくなってくると夏ほど気を使った水やりの必要はなくなります。また雨の多い9月は散水量も少なくなるかもしれません。地温が上がれば表土が乾燥しているなら散水する程度で良いでしょう。

冬の散水

冬は植物も冬眠のような状態であり育ちません。基本的には水やりは必要ありません。植物の特性により、気温が0度以下にならないようなどころではたまに散水も必要です。

ホースの種類

一般的な呼び方…内径×外径

内径15mmが一般家庭の蛇口に合うもので、他には18mmや25mmの大きさのものがあります。

●シングルホース



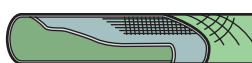
材質やカラー、肉厚に関係なく、同じ素材で一体成型された一重管のホースで、柔軟性がある分、キズがつきやすく、冬の寒さで固くなってしまふものもあります。

●ダブルホース



外と内側が違う素材で作られているため、ねじれや圧力に強いのが特徴です。一般的には内側が白くなっています。

●ブレードホース



外側と内側の間にポリエステルなどの合成繊維の糸が編みこまれているので、ねじれやつぶれに強く、中には物に挟まれてもつぶれないで、水の勢いも変わらないというものもあります。

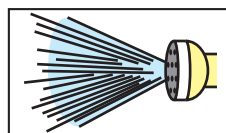
●防藻ホース

ホースの中に水をためたままにしておくと、藻が発生します(緑色をしたコケのようなものが出てくるので分かります)が、このホースは光を遮断する黒い層を持っているので、藻の繁殖を抑制するようになっています。

散水ノズルの種類

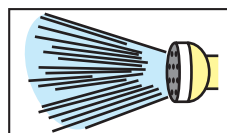
ホースの先端に取り付けて水流を変える器具です。家庭用では拡散・シャワー・ジョロ・直射・ストップといったパターンが必要に応じて変えられるピストル型が主流になってきています。

拡散



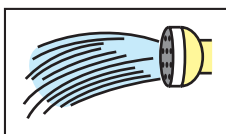
広範囲に散水したいときに

シャワー



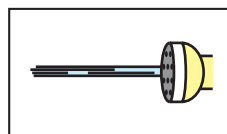
植木などにまんべんなく散水したいときに

ジョロ



鉢物にやさしく散水したいときに

直射



勢いが強いので、遠くへ散水したいときや汚れを取りたいときに

ストップ

散水を中断したいときに(散水が終わったら必ず蛇口を閉めて、ホースの負担にならない程度に水を放出しておきましょう。そのままにしておくと蛇口から水漏れるようになります。また、冬場は凍結破損の原因にもなります。)

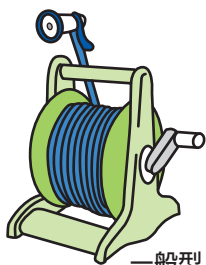
ホースまわり

●ホースリール

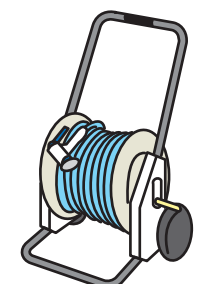
ホースを使わないときに邪魔にならないように巻いて保管しておくものです。巻取りの長さは短いもので10～30m、業務用では50m用のものまであります。取り付けホースのサイズは12mm用が主流となっています。業務用ではスチール製が主流ですが、一般家庭用のほとんどでは軽いプラスチック製のものが多くなっています。



カセット型



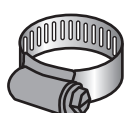
一般型



タイヤ付リール型

●ホースバンド

ホースの蛇口に直接つなぐときに水圧で抜けないようにしっかりつなぎ止めておく器具です。



●ホースジョイントコネクター

ホースとホース、ホースと蛇口、ホースと散水ノズルなどを接続するパーツです。プラスチック製が主流ですが、真鍮・ステンレスなどの金属製もあります。



ワンタッチで蛇口につなぐ、はずす



無理なく回転できる



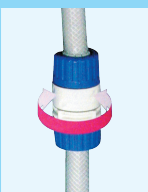
泡沫蛇口につなぐ



蛇口から二方向につなぐ



角型蛇口につなぐ



ホース同士をつなぐ



はずす時にストップできる

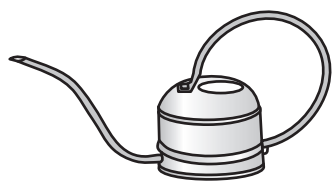


二方向に分岐する

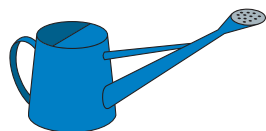
その他の散水用品

●水さし

ステンレス製からプラスチック製までいろいろなデザインのものがあります。主に室内の鉢植えの水やりに使います。注ぎ口が小さく、液だれしないタイプがよいでしょう。



●じょうろ



水の出方が柔らかく、種や苗の上から散水するのに適しています。プラスチック、トタン、ステンレス、真鍮製などがあります。

●スプリンクラー

主に芝生や庭に一定量の水をまいたり、ビニールハウスの冷却用などに使われています。水を流すとその水圧でくるくる回りながら四方に散水するものと、円形に拡散させるもの、四角く散水するものなどがあります。庭に必要な場所の形状によって使い分けてください。



※掲載商品は予告なく変更する場合がございます。 [禁複製]



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



アヤカ
ポイントも
貯まる!

Point
ポイント
カード
機能

クーポン

最新チラシ

DIO
店舗検索

アヤハディオ
ネットショッピング

アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

